

Picosmos Toolsで写真を楽しく便利に!

切り抜き

切り抜き



他の画面に貼り付けるために対象を形に沿って切り取ることで、合成写真に使用する時などに利用するものです。この機能の基本は「切り取る部分と残る部分の色・模様の違いから境界を判断する」ものですので、背景や対象がシンプルな色・模様の場合は簡単な操作で上手く切り抜き出来ますが、自然界の色模様は複雑ですから「きめ細かな操作」を必要とします。

私が実際に利用した画像を元に説明します。4人グループの活動を1枚の写真に収めて送付とフォトムービーに利用したものです。



手順1：切り抜くことを意識して全身が写る位置に立って写してもらう

作業は撮影時点から始まるのです。意識しないと手や足が隠れてしまい、欠損体では合成写真には使えません。

手順2：写真を開く

このスクリーンショットは、Picosmos Toolsの「切り抜き」機能の操作画面を示しています。右側の大きな写真には、4人の登山者が岩の上に立っている様子が写っています。左側のパネルには、切り抜きの設定メニューがあり、いくつかの項目が赤い枠で囲まれています。これらの項目には、以下の説明が添えられています。

- 周囲を囲む**: 切り抜く対象の周囲を正確に囲むための機能。
- 間違っって塗った箇所を元に戻す**: 誤って塗りつぶされた部分を元の背景色に戻すための機能。
- ブラシのサイズ**: 塗りつぶす際に使用するブラシのサイズを調整するための機能。
- 切り抜く範囲を限なく塗りつぶす**: 切り抜く範囲を制限なく塗りつぶすための機能。
- 拡大**: 作業中の画像を拡大して詳細を確認するための機能。

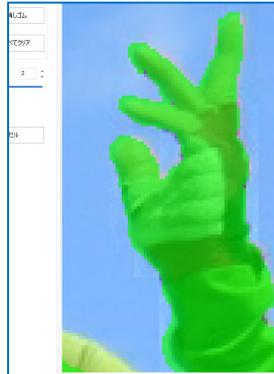
手順3：緑色で塗りつぶす

注意：画面を動かす時に何時ものクセで「画面をドラッグ」してしまうが、「塗りつぶし」になってしまいます。右&下のカーソル移動で行う必要があります。尚、塗りつぶしになった場合は「消しゴム」で消去します。

これではダメ



ブラシを2にして指先まで



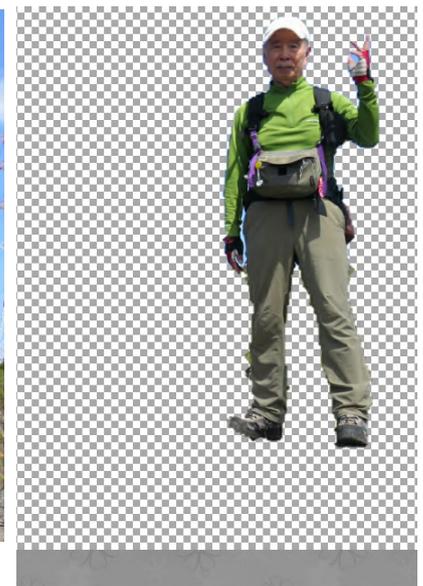
外側は細筆で内側は大筆で



手順4：外側を囲む

細かくやってみました！ が、指間・左手と右体の間が抜けていない！ これはソフトの限界です。気になる人はGIMPを使いましょう、ただし、手数多くもっとこまめにやる必要があります（[ここ](#)）。

作業途中を保存する機能はない。



手順5：保存

自動クロップをクリック

最小範囲でトリミングされる
拡張子 png で保存

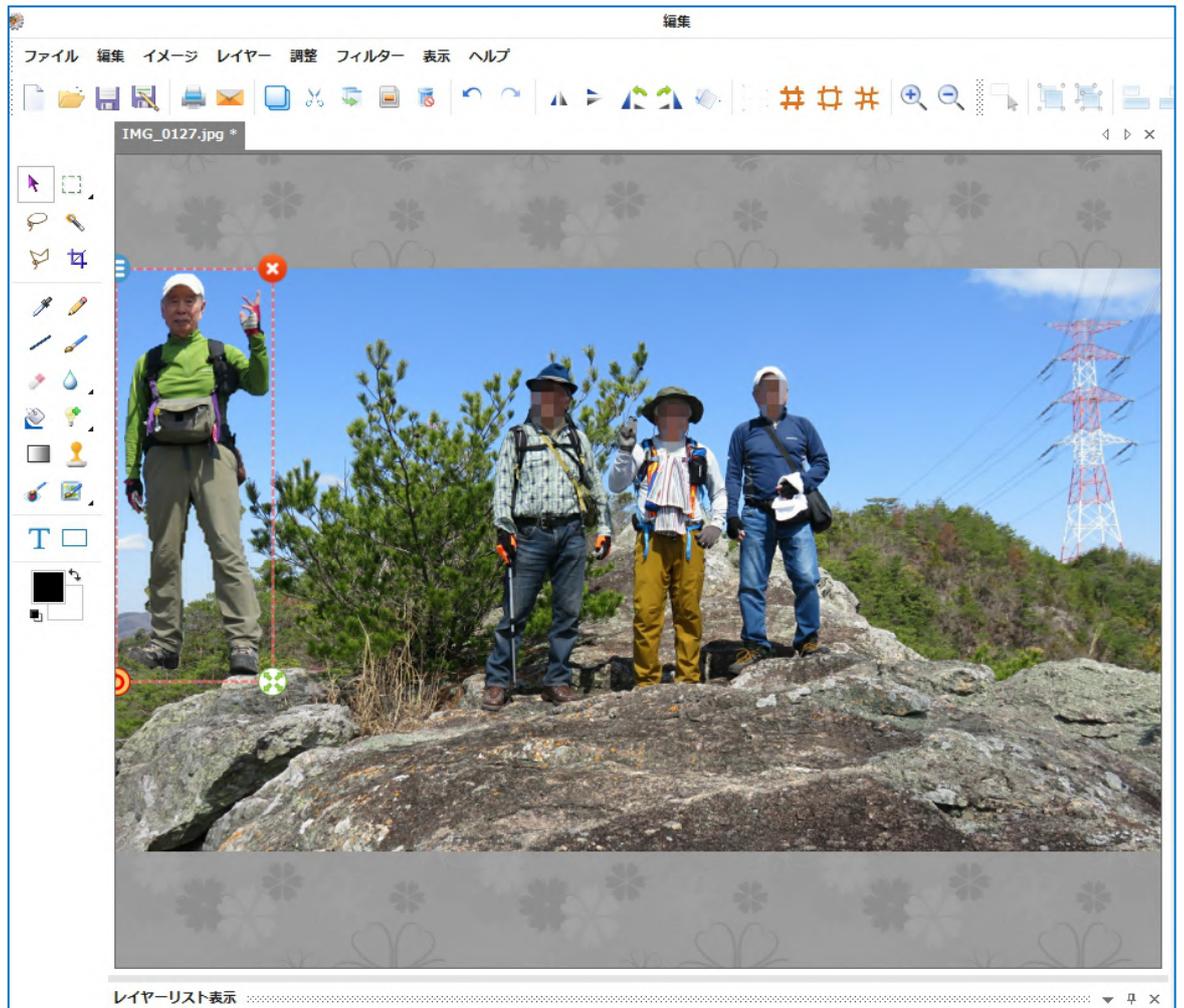


手順6：合成

編集機能で合成する

切り抜いた画像を開き、クリップボード保存しておく

貼り付けた状態



ドラッグによる位置決めと大きさ合わせを行う

○を触るときは shift キー押してないと縦横比率が変わってしまうので注意！

良く見ると右足が宙に浮いているのですが、チョット見には気付かれないでしょう！



こんな形で切り抜き出来たこともあります

